

「第32回光物性研究会(2021)」のご案内

First Call for Papers

開催日 : 2021年12月10日(金)、11日(土)
開催場所 : オンライン開催 (Zoom)
論文投稿締切日: 2021年10月29日(金) (pdfファイル投稿)
参加登録締切日: 2021年11月5日(金)
(この後の参加登録も受け付けますが、参加費が上がります)

研究会の概要:

本研究会は1990年より始まり、今年で32回目を迎えます。本研究会では、「チュートリアル講義」と「特別講演」を招待講演とし、一般発表は特にテーマを設定せず、広義の光物性分野の諸課題を中心に議論することを趣旨としております。これは、多岐にわたる光物性およびその関連分野の若い研究者、学生に発表と討論の機会を提供し、研究者間の交流、情報交換の場となることを研究会開催の主目的としているからです。そのために、十分に時間をかけて自由に討論できるポスター発表を研究会の中心に据えています。全国の研究者、学生の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

2021年度のお願い:

今年もコロナ禍のためにオンライン開催で臨むことになりました。議論ができる環境を重視するという観点から、オンラインにおいても個々のポスターの議論の場を確保することを心がけております。オンラインポスターの差し替えは当日までできますし、1時間以上の議論が可能です。方法に関してはWEBページで詳細をお知らせします。皆さま、研究者間の交流方法の多様化にチャレンジしてみたいか？これまで光物性研究会に参加したことがない方々も、この機会に是非ご参加ください。

テーマ: 励起子光学応答、超高速光学過程、非線形光学現象、低次元系の光物性、光誘起相転移、局在状態(緩和励起子)の光物性、ナノ構造物質による光機能制御、光エレクトロニクス・量子情報・太陽光発電等材料への応用、フォトニック結晶、プラズモニクス、メタマテリアル、光マニピュレーション、光化学反応、光合成・生体関連物質の光物性、材料・デバイスの光学評価、新分光法、その他。

チュートリアル講義と特別講演: 大学院生、若手研究者を主対象に、赤井一郎先生(熊本大学)によるデータ駆動科学に関するチュートリアル講義(90分)と岡本博先生(東京大学)による光物性の先端的な研究に関する特別講演(60分)があります。

光物性研究会奨励賞: 将来の光物性研究をになう優秀な大学院生の研究・発表を奨励し、今後の研究の一層の発展を期待して表彰を行います(受賞件数は発表総数の5%程度: 概ね4~5件)。本賞の受賞対象者は、事前に申し込む必要があります(詳細はweb上で案内します)。

論文集: 論文集を発行し、参加者全員にデジタル版を配布します。論文は各発表4頁です。論文の提出が発表の条件になります。論文はwebにおいてpublic domainに公開します。投稿の際に公開の可否をご指定ください。

論文投稿締切日: 2021年10月29日(金): pdf投稿、キーワードの指定が必要

参加費: 11月5日まで 教員、研究機関、企業関係者 5,000円、学生 3000円

11月5日以降 教員、研究機関、企業関係者 6,000円、学生 4000円

参加費の振り込みについては、webに記載している振込口座をお願いします。

研究会の情報: <http://phys.iina.kumamoto-u.ac.jp/HIKARI/index.html>

全ての連絡(参加登録、プログラム、論文書式、参加費振り込み等の案内)はwebで行います。

研究会問い合わせ先: 〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3

大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻 芦田昌明 (組織委員長)

e-mail: ashida@mp.es.osaka-u.ac.jp tel: 06-6850-6506

組織委員: 岩井伸一郎(東北大・理)、枝松圭一(東北大・通研)、嶽山正二郎(東大・物性研)、早水裕平(東工大・物質理工)、武田 淳(横浜国大・工)、田中耕一郎(京大・理)、中 暢子(京大・理)、松田一成(京大・エネ科)、浅野建一(阪大・理)、芦田昌明(組織委員長: 阪大基礎工)、金 大貴(阪市大・院工)、石原 一(阪大・基礎工/阪府大・工)、内藤裕義(阪府大・工)、溝口幸司(阪府大・理)、伊東千尋(和大大・工)、秋元郁子(和大大・工)、喜多 隆(神大・工)、河本敏郎(神大・理)、赤井一郎(熊大・産業ナノマテリアル研)